

## 基本方針

1. 内科の二次救急病院として、24時間365日対応します。
2. 地域の医療機関、福祉施設と連携を取りながら、地域ネットワーク型の保健医療福祉システムをつくります。
3. 皆さまが住み慣れた地域で暮らし続けることを一般病棟および地域包括ケア病棟で支援します。
4. 十分な説明と理解を心がけ、思いやりのある安全で良質な医療を提供します
5. 職員が活き活きと働きがいのある職場づくりに努めます。
6. 健全な病院運営により地域医療へ貢献します。

平素より格別のご高配をいただき、誠にありがとうございます。  
令和7年1月1日付けの外来診療担当医表をお送りします。  
外来診察や入院のご相談、内視鏡検査のご依頼、各科医師への電話取次ぎ、何かご不明な点がございましたら、地域連携室までお問い合わせください。

## 【地域連携室 受付時間】

月～金曜日：午前8時30分～午後7時  
土曜日：午前8時30分～午後5時  
※ 日・祝・年末年始（12/30～1/3）を除きます。

## ●新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。  
平素は医療介護の連携に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

昨年9月より導入しました『**地域包括医療病棟（2階病棟）**』では、従来の内科救急機能を持ちながら、リハスタッフや管理栄養士を病棟に配置し、治療に加えてより入院早期からリハビリ・栄養管理・口腔ケアを行い、特に高齢者に多い急性期治療中のADL等の機能低下の防止を計っています。さらに退院支援（カンファ・退院時指導・訪問指導など）にも力を入れることで、よりスムーズな在宅（施設）復帰を支援する病棟です。これは昨年の診療報酬改定で新しく創設された病棟で、これまで特に高齢者が急性期の治療を受けている間に離床が進まず、ADL等の機能が低下し、在宅復帰がうまくいかないケースが多く見受けられるということが、創設の背景となっています。

また、『**地域包括ケア病棟（3階病棟）**』では、これまでと同様に急性期を脱した状態や一時的なリハビリ目的の入院や医療的レスパイトなど、在宅（施設）復帰や在宅（施設）生活の継続を行うための幅広い入院ニーズに対応しています。

また、当院の診療体制は、昨年4月に循環器内科の古島医師、消化器科の廣瀬医師が入職し、患者さんの受け入れ体制をさらに強化しています。さらに診療体制以外の面でも、連携先からも多くのご要望をいただいていた『**入院時の送迎対応**』、『**付き添い無しでの受診・入院**』などにおいても運用を開始していますので、ぜひご活用ください。

当院は、規模は小さいながらも、予防医療～急性期～回復期～在宅医療まで一連の医療サービスを提供する『**sustainable な急性期ケアミックス病院**』として、これからも地域ニーズにお応えしながら、みなさまが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう取り組んで参ります。今後とも何卒よろしく願いいたします。

牧病院 院長 中谷 武嗣